WEDNESDAY, DECEMBER 18, 1929. NO. 10828

The Japanese American News

第一万八百廿八號 【日曜水】 昭和四年十二月十八日

日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
820 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONES: PROSPECT 0239-0239
ENTERED AT S. F. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 6.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES ..... 5 CENTS

日米

創造の農業 頭の農業へ

（一）

從來農業といへば、土に親み自然と樂む生活であつて、最も自然生活を多量に享受せるものと見られてゐたのであるが、然し、近代資本主義が極度の發展を來すに伴れて、從來の如くコツチーと耕作のみに專念し一般農産市況のことや、財界の大勢について無關心であつたら、その勞苦は、案外報いられないのである。例へば、現代の忍び、富源の收穫を擧げることに努力しなくてはならぬがそれといつて、自分等の收穫した農産物を資源なる市場に於いて、如何なる高價に賣捌くかといふ點に考慮を拂はなかつたらその大半の利得は、喪失するであらう。

（二）

然しながら、一般農産市況のことや、財界の大勢について無關心であつたら、その勞苦は、案外報いられないのである。例へば、野菜類を耕作してゐる農業者は、たゞ野菜類のみに沒頭し、他に有利な農業があつても、これに注意を拂はふとしない。尤も農家の側にあつても、資金の不足や、その他色々な事情のため、有利な耕作のあるのを知りながら、その方面に轉嫁不可能の狀態にある人もあらう。然し、現狀打開の困難な事情は、徐々にこれを除き漸次所謂局面を打開すべきであつて、所謂頭の農業へ創造の農業へと進展すべきである。

（四）

少しく農産市況に注意を拂つてゐたら、色々な有利な農業があるかも知れぬ。有利な農産物があつたら、これをまづ、小規模に試作し、成功を收めたら市場の調査によつて販路に對する確實を期し次第、自家農作の一部を、漸次、農産の耕作に振向けてもよい譯である。從來やり來つた、一般的な農業には、その農産物が一般化してゐるだけに新奇な新販路による農産類の如き、好利益を期待する譯には參らぬ。假令、新規な農産物は假令、精勤の結果とはいへ、尚多少の危險は免れぬかも知れぬ。

（五）

これを斷行する譯には參るまい。

（六）

かつて、本誌農欄において紹介した如く、コーチズの農業視察團、馬場、馬塚及び清水の三氏は三年前よりチヤー、ペパーの耕作については研究してゐたが遂に非常なる好成績を擧げたとの事である。こゝチヤー、ペパーは、思慮、性質を加味するからは、一昨日白亞館における大統領と會見の模様

日米の軍縮全權團 國務省で會見

三時間にわたる意見の交換 若槻氏第二次聲明を發表す

（ワシントン 十七日午後二時十五分清澤洌特電）日本軍縮全權一行の各方面への正式訪問は本日正午のタフト大審院長訪問をもつて終りいよ〳〵國務卿スチムソン氏以下と軍縮問題討議に入ることになつた。會議は午後三時より國務省で開かれるが、今回の會合では問題の大綱のみについて論議意見の交換をなし、細目はこれを出淵大使及び倫敦會議に殘すことになるものと觀測される

若槻全權が華府新聞界に與へた印象は極めて良好でワシントンスター紙の如きは同氏の率直さ、態度或る程度外貌までも英首相マクドナルド氏を想起さすものがあると評してゐる。

一昨日白亞館における大統領と會見の模樣

＝米人記者團に好感をもつて迎へらる＝

〔華府十六日清澤洌特電〕 軍縮會議日本全權は本日白亞館にて大統領國務省にて國務卿と夫々會見し熱誠なる歡迎をうけた。會見後兩全權は口を揃へてフウバー氏の態度を賞揚してゐた。

午後五時より日本大使館において米人記者團約五十名との會見行はれ、若槻財部兩全權兵に一同の前に立ち、若槻は用意したステートメントを朗讀、澤田譯、ケロッグ氏これが通譯に當つた

その後若槻全權は記者團の種々なる質問に全權名を引用せざることを條件として一々同答を與へ、日本が第一等海軍國の七割軍力を必要とする旨を言明した。

佛伊兩國が會議より脱退する場合に、日本は英米と共に三國會議に臨む用意ありやとの質問に對して、全權は余は五ケ國協定の成立を確信してをり、いま、假定の上に意見をのべるを好まずと答へた。

若槻全權の應答は明快俊慧にして記者團を十分に滿足せしめるものがあつた。財部全權夫人は和服姿にて出淵大使夫人を帶同し、社交的二、三の訪問を試みた。

（華府十六日電通）若槻全權と米國大統領との會見は本日午後三時白亞館内ビクトリウムにて行はれ若槻財部兩全權のほか左近司、寶藤兩顧問陸行英に謁見するところあつた

次的聲明書を出し明白率直に日本の立場を表明した。

日本の主張を右によつて要約

編輯局本全權は本日フウバー大統領、國務卿を訪問し後、沙市陣の第一次聲明に次ぎ第二

第二次聲明 內容概略

（ワシントン十六日合同）

フウバー氏は全權一行のアメリカ訪問を心より欣快とし滯留期間の短きにすぎるを遺憾とする旨のべ若槻全權これに對して熱誠な歡迎を感謝し、貴國の官邊諸氏と胸襟を開いて意見の交換を希望する旨をのべた。

鈴木參謀總長授爵されん

＝來年二月圓滿辭任＝

（東京十七日電通）勇退をつたへられてゐる鈴木參謀總長後任は本庄繁大將は目下關東軍の陸軍大臣に就任華の一段落を機に來年二月頃四月下旬辭任とほゞきまり、特に功によりて授爵の御沙汰あるやに拜聞する

追加全權は長岡永井の兩大使の內

（東京十六日合同）米國が軍縮會議に、名の全權を任命したにつき日本は約合上二名の全權追加を目論でゐるが、出淵駐米大使

佛伊妥協 倫敦會議の障碍輕減す

（パリ十六日合同）佛伊海軍閣議は大綱の起草を正式に決定、備交渉にてイタリーは本日佛伊

佛伊妥協 倫敦會議の障碍輕減す

（パリ十六日合同）佛伊海軍閣議は大綱の起草を正式に決定、備交渉にてイタリーは本日佛伊

山梨氏は起訴

＝友人等の奔走甲斐なく＝ 大將同情を拒絕した爲 法相御裁可奏請

（東京十七日電通）山梨大將の所置問題は宇垣陸相其他軍部の活躍に盡力し位階勳等返上による大將の處分を求めようとしたが山梨大將はこれを聞きいれず、同時書たちも起訴なければ本日閣議にて首相、見しに本日の相は密議し、寶藤朝鮮總督、同時に首相官邸に於て宇垣陸相、荒木文相、鳩山法相、宇垣陸相、荒木文相、鳩山法相、宇垣陸相、荒木文相、鳩山法相、

勞働協會に就いて

在桑港　小德林次郎

（二）

歳が暮つて邦人デ、オーク樂者の現狀を見ますと誠に悲觀すべき有樣であり、當ての移民法が改正されましてから、力強い元氣潑剌たる優秀者の渡來を、うしなひました。デオーク樂者はまだ〜その氣や大いに貴むべきものがありますが、一年と共に增してゆく、頭數の點は如何とも出來いのです。從つて當のやうに朝に星ないたゞき夕べに月を押して歸るがやうな過勞はとても出來ないことになりました。それぱかりではありません鬼角人間は若い元氣者が後から後からと押して來るときには、ノホホンとゐるわけをしてゐることは出來ません。今のやうな若いデ、オーク樂者が乏しいと鬼角つまらぬ小さい事までも競爭々々と蝸牛角上の爭ひを生じまして自ら快さするやうな極めて卑劣な行爲までもされてゐる人があると聞いてをります。天下泰平にして高枕安臥してゐるときに、しかも果然恐るべき强敵が出現して來ましたいふまでもなくヒヤピン人の狀態です。數年より船の來る毎に色の黑いヒヤピン人は、續々と上陸してくるではありませんか、彼等は實わかい元氣だ、邦人デ、オーク樂者がいゝ氣になつて枕を高くし、泰平樂をたゝいてをりますと、わかい者はドン〜追ひ越してしまう。癪てゐる暇は假令起ち挨くとも、のろいは鈍より遲かつたではありませんか

▲

君は靜かに三十年前を地に裸一貫で上陸したときの有樣を追想しますと、當時の日本人の狀態は、現在のヒヤピン人のそれに酷似してゐると存じます。繰返しいふやうですが、吾々は年々老境に入ります。第二國が吾々の後繼者としてデ、オーク樂に從事するやうになり、われ〜の開拓した勞働市場を繼承するか否かは存じません。それはすべて時が解決してくれるでせう。たゞ吾々は現在の市場を一日長く維持が出來れば、それだけ、われ〜デ、オーク樂者は幸福なのです。

▲

種のフラブルあらば目前まで出來るだけ報告願ひたいと云つて旬をいふと樂て物を取らぬと頑張るものあるとかで、一般市民家によつて許されてゐる。たとへば住居の家が借家である場合に、借家人は賃金を請求しうることになつてゐる。但し居住の家が自家所有の場合は、その要求を尽けてよろしい。

料金の不當要求をやつたり、文句をいふと樂て物を取らぬと頑張るものあるとかで、一般市民家によつて許されてゐる。たとへば住居の家が借家である場合なら、不拂のまゝ移轉といふ憂ひがあるので、

借家間借り住ひの人々

に、とかく忍慢になられたり、

南北麻雀試合を羅府側より挑戰

來春早々初顔合を

マージャン熱は久米正雄氏が過ぎした生活をしてゐる堆へすると、

たがこれ以上に南加方面では非常な流行で、しかも羅府方面ではマージャンをやり始めたのは桑港よりも新しいけれどその熱心さは非常なもので、ことにクスマスと元月の休日を前に各方面では一生懸命に稽古をしてゐるとのことだが近年何事も南北試合といふことが流行し桑港羅府の方チャンピオンの比べ合をした

車中の兩全權

疲勞した若槻氏 親切な財部氏夫妻

全權列車にて　清澤冽

財部海相にウエナッチーの同胞が待つてゐることを語ると「起きてゐますも」といつて、夫人と共にいつまでも展望車にゐた。キャスケードは雪に埋れて森林が霜のやうだ。みんな展望車の火を消して外をみた。列車は雪で明るい。

▲

ウエナッチーについたのは午後十一時半頃であつた。在住者の重立つたものが名物の林檎を持つて來て全權に勝つたことも忘れて女らしく同情した。この御合書いてをくが一行中に財部夫人が來られたことが非常にいいことであつた。この男だけの一行に婦人一人あつたことが、それだけ有意義であつたことか。

▲

シャトル、タイムスその他でも、全權一行のことは比較的小さくしか出てゐなかつたのに、夫人のことは非常に大きく取扱つてゐた。

▲

雪日の十三日は朝から雪で、一尺以上積つてゐる。前日來の疲勞で皆朝寝をした。モンタナ州のホワイト、フィッシュにつくと、ここでも雪の中を、在留同胞が六七人出迎へてゐた。ここでも財部夫妻は外套を着て、外に出て一々一般の趣味の人々から出品を得この人々に會つて握手をし勞した。

▲

「アメリカにをつて日本の禮式なぞは忘れてゐると思はれたのに、みんな外套を取つて挨拶したよ。矢張り日本人だねー」こう、ウエナッチーを出た後で財部海相は語した。

▲

財部氏が、いかにもハートがあたゝかい。親切の人であることは、その行動で分る。そしてその夫人が如何にも、また日本人らしいことが、暫くアメリカ婦人を見なれて來た私には喜びの一つであつた。（十三日　ホワイトフィッシュを出て暫らくしてから）

大都會に突發の慘事

紐育パテー、マンハッタン映畫製作所では將にトーキー畫の製作に取り掛らんとする利那フィルム大爆發し忽ち美しい四人の女優と六人の從事員が犧牲になつた近來にない大都會の慘事　消防夫が慘事の跡から死體を取り出してゐる所

更に航空史を飾る 南太平洋飛行

盲滅法の無人境着陸 辛くも死線を超えて

（リオデクヤネロ十七日）去る日曜日の午後十二時半スペイン國セビリヤを出發南太平洋を南米ウルグエイにむかつて一氣にとびつくさうと一路水また水の上空をひた急ぎに急いだ、しかるに昨晩の入電はウルグエイ飛行中佐ボルゲス・佛國飛行中尉シャルレ兩氏操縦の機は行衛不明を報じ、さてはは更に太平洋上の犠牲をくはねになつて遭難がわからなくなり早くも彼等を鬼籍に入れやうとしたが數時間のち兩氏はブラジルの小邑サントアントニオに着陸地をもとめることとした。しかるに日はトップリ暮れて何が何やら霧深くわからなくなつたが着陸を敢行するほかはない。それに二人は極度に疲勞した。つひに着陸と決心し霧の地表にむかつて降下した。機が着陸と同時にボルゲス氏はコクピットにはさまれてしまつた。しかし不思議にも兩人はきはめて輕微な負傷であつた、兩人の着陸したところはブラジルの礦野マタグユアの地方であつたが、こゝからあてもなく、人里を求めてついた所が、サントアントニオで兩人はまつ同地で人々の非常なあたたかいもてなしをうけた、此處からナターに赴くことにし破損した機を修繕する企てを放棄しあとで機の始末に出直すといふ。

（リオデクヤネロ十七日）去る佛國やつとの思ひで辿りつき始めて

其消息が傳へられた

十六日午後四時ごろブラジル國の都岸を眺めた飛行士等は一安心した。いよ～ウルグー國モンテビデオを指して一氣にとおはせやうとしたが、その後は、レデオがきかなくなつた。兩人の安否が心配されてゐる。

邦人主義者を再び未決監に

米國政府を攻撃する 外人の滯在を好まないと

邦人間に起つた初事件

土曜日の晩五車愛角において、共産主義運動の取締官權のために拘引された日本人藤井女治、毛持定一、井上ハリーの三君は五名のボンドで一時釋放されたが、昨日警視廳の結果毛持、藤井の兩君は再び未決監に拘留され、書類は「切迫民局側に報送され、移民局の指命を待つことになつた。

官權側で

聞くところによれば、は「米國市民にもない一外人が米國の政治、國體に關して非難を放つやうなことは決して愉快なことではない否むしろこんな種類の外國人は米國内にをあつさを好まないから何とかの方法で自身の國に歸つてもらひたい」といふにあるといふが、逮捕されれば相當の手續きと

法律の許す範圍

において行はなければならないのでこの方法を講じてゐるとのことだが、こんなことから抑留され書いてもの目的は成功を收めたのか、

妻の愛を奪つたと

富豪を相手取 二十萬弗訴訟

ラジオの礦野マタグユアの地方であつたが、こゝからあてもなく、

人里を求めて

ついた所が、サントアントニオで兩人はまつ同地で人々の非常なあたたかいもてなしをうけた、此處からナターに赴くことにし破損した機を修繕する企てを放棄しあとで機の始末に出直すといふ。

在日贊助員

在米日本人會の贊助會員として左の人々いづれも市づゝ同會へ納附した。▲志賀孝之助（華村）▲立木浪之助（ビスカデロ）▲吉嶋寛（同上）▲生田見譜（チーコ）▲大野幸四郎（同上）▲玉田平七（サンノゼ）

（ラ州ロスアンゼルス十六日）市の美男實業家キューナートの妻は元インデアナ州の富豪ウオーターライターの秘書であつたところが、この程キューナートは、自分の妻と不義の關係のあることを發見し、離婚訴訟を提起し金米の注意を惹いてゐる。

在米日本人會の贊助會員として二十萬弗の訴訟者として二十萬弗の訴訟を提起した。

特務艦佐多 お正月を當地で迎へる

廿六日サンピードロより入港

久々ぶりでしかも本年最終に廿六日サンピードロより當地に入港することになつたが、同艦は水雷を搭載してゐるので入港の際は機械に留繋することになつてゐるさいふ。乘組將校は左の如くである。

海軍特務艦佐多 乘組將校

艦長　大佐　伊佐卓彌
副長　中佐　矢部勇
機關長　少佐　佐藤明治郎
航海長大尉　室田男次郎
運用長大尉　山形敬二
主計長主計大尉　芳本富三
分隊長　大尉　岡嶋孝
軍醫長中尉　井手元男
同　中尉　久保正

未だ雨は降る 太平洋上の低氣壓

子供外一三人はいづれも高原氏の自動車に同乘し、波止場から埃走し來たヤローキシーと衝突し、宇井氏をはじめ高原氏および同氏の

（ロサンゼルス十六日）去る廿一日發行の「週刊日米」の報道によつて、ロスアンゼルス、ハリウッド、ロングビーチ、ポートランド、シアトル、ベンクーバー、ビクトリア、ホノルル、ヒロ、ハロ、カフルイ、ワイメア、ホノルル、ヒロ、ハロ、カフルイ、ワイメア、ホノルル、ヒロ、ハロ、カフルイ、ワイメ

桑港市況

十二月十七日

連日の降雨にて市況は軟調

クリスマスフリーは非常に良好である

▲概況　連日の降雨にて桑港市場は品質を損じ動かざること甚だしく閑散なる市況であつた。市價は引つゞき手堅く大した變化なく緩めざるも野菜類には多少の變化ありし模樣であつた。果實類野菜類のスローなるに反してクリスマスフリー等は相變に動いたらしかつた

▲アップル　アップルは可成需要ある北方物スピゼンバーグ種上物三弗二十五仙から三弗五十仙・ウインサップ種二弗七十五仙から三弗・ウインターバナナ種二弗五十仙から二弗七十五仙

▲クランベリー　クランベリーは半バーレル九弗五十仙から十弗にてスロー

クリスマスフリー　オレゴン州方面の入荷多く需要良好にして昨年より多少安價と見た。あるものの觀察によれば昨年は入荷過剰の恐れありと報じてゐるが果たして如何なるか未だ確定を許さない。市價はパンチ一弗五十仙内外

▲他の果類　平凡にして市價の變化なく相場類依然として良好と見た

野菜類

▲アーティチョーク　今朝市價軟調にて三弗五十仙から四弗五十仙にて最上物四弗七十五仙・上物二弗七十五仙・ブロッコリー　上物二弗七十五仙・大クレート八弗から十弗

▲スプラウト　ハフムーンベーものボンド三仙から七仙、ダベンポートもの十仙から十二仙にて良好

▲カリフラワー　相變はらず入荷多くダズン五十仙から八十五仙にて堅はず

▲セロリー　セロリー市場手堅く最上物三弗から四弗にて、プーアもの一弗五十仙内外、ユタ州物五弗から五弗五十仙

▲ピー　帝王豆物クレート大弗五十仙から六弗七十五仙、サフクものボンド十仙から十五仙

▲スクワシ　スカーロプ種はラグ二弗から二弗五十仙・イタリヤン種一弗五十仙から一弗七十五仙・クリーム種はラグ七十五仙から一弗

▲レタス　レタスは降雨のため品質を損じ市價定まらず。

アスパラガス	二弗五十仙	二弗七十五仙
ビート	一弗五十仙	一弗七十五仙
ブロッコリー

南加版
支社電話（MU）ミッドウェイ八四一五

待たれるその夜
近づくクリスマス
指折り數へて待つ子供達

奇しきクリスマスの星も輝いて樂しいその夜が一日一日と近づいてくる。大人は贈り物の買ひ物等から何等の返事がないが明日は出羅し中日曜新聞と相談の上何物、子供は祝賀會の練習に忙しいことだが羅府市内同胞各教會の催しを列擧すると

合同祝會　二十日夜は教會のクリスマス二十五日夜は教會の余興もある

基督教會　二十二日朝は日曜學校生徒のため二十五日夜は一般教會員のクリスマス

美以教會　廿二日朝は日曜學校の祝賀廿五日夜は農崎委員長、門司、川添、吉本、財滿、山崎、赤松、木野、湯本、財滿、木下、藤坂矢、鶴、鶴田の紫氏が腕を振るつて盛大に催す

聖公會　廿六日夜横田氏司會の下に岩崎、越川、平田の各委員の手で

聖林羅立教會　では二十六日夜角宿、四橋、鍵和田夫人等が中心

西本願寺　二十五日夜藏暮寺大會を開き演話、劇、ダンス、獨唱等あり

東本願寺　二十二日午後三時から同じく子供達の爲め藏暮寺を開き活動寫眞を見せる

米國日本人會　廿三日午後一時から西本願寺で米國教育年鑑盟南加支部の創立大會開催

羅府青年聯盟　南加支部發會式

羅府青年聯盟は年末に南加支部の發會式を挙行すべく目下準備中であるが、去る十三日夜羅府青年會長田村義澄氏の歓迎の席につき各地代表の自己紹介があり田村氏を議長に、坂本氏を書記に推し左の事項を決議した

一、事務所は西本願寺内におき二名の幹事を置く

二、南加佛教聯盟は年末に南聯盟大會の開かれる二月前に開催すること

三、會費は各佛教會の青年會より年額五弗宛を納めるほ別に二十五仙を徴收するとほ出席者の負擔とする

掲載

ヴイスタ事件
藤井氏を招く

議場日曜で決定　中日の對策は？

二十六日（木曜日）サンデーゴ郡裁判所で開かれるヴイスタ問題土地事件に關し、去る十三日夜サンデーゴ市で時局委員會を開いた結果藤井氏を招くことに決し代表者出羅し交渉中である。中央日本の聯盟方針につき橋井記長始め各地日曜新聞を川羅にいかんね。とかくギグ〜と突かれる。

南加雜信

▲サンデーゴのフリスコカフエを經營する川崎氏は聯石病でなやんでゐたが紐育聯盟の注意で一週間斷食しオリーブ油とモン水をのんだところ無數の膽石が下り軽方もなく全癒したと

▲サンタモニカの自由業以教會では來たる廿三日夕六時半からクリスマス祝賀會をひらく

▲同じくサンタモニカ學園では廿二日午後一時から慰問會兼クリスマス祝賀會をやる

▲サンタバーバラの佛教會は平氏の長男和俊君（二つ）はジフテリアで死去、昨日本願寺で葬儀を營む

▲モチタ日本人會では來たる廿八日午後四時役員會をひらき引つゞき忘年會をひらく

▲サンタバーバラの佛教會は廿五日總會をひらく。なほ樂友倶樂部では廿一日夜新入會員の歓迎を兼ね忘年會を催す

▲ソーテルの高山泥華氏宅には毎週土曜日夜觀世流謡曲稽古をはじめ目下十數名の會員がある

▲サンタモニカの古澤巳之午氏一家は一月十日の後間丸で歸國の

▲ガーデナ在住熊本縣人上野太郎氏は廿一日夜逝去、葬儀は廿三日午後一時から慰問會兼クリスマス祝賀會をやる

▲ガーデナ日本人會では來たる廿三日夕六時半から慰問會兼クリスマス祝賀會をひらく

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲ラグナビーチの小川醫師は廿三日夜慰問のため出羅し廿四日夜帰る

▲ガタルーブの南彌石工門氏と小山三代松氏は本月末羅府で結婚

▲ガタルーブの南彌石工門氏と小山三代松氏は本月末羅府で結婚

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

南加雜信

▲サンデーゴのフリスコカフエを經營する川崎氏は聯石病でなやんでゐたが紐育聯盟の注意で一週間斷食しオリーブ油とモン水をのんだところ無數の膽石が下り軽方もなく全癒したと

▲サンタモニカの自由業以教會では來たる廿三日夕六時半からクリスマス祝賀會をひらく

▲同じくサンタモニカ學園では廿二日午後一時から慰問會兼クリスマス祝賀會をやる

▲サンタバーバラの佛教會は廿五日總會をひらく。なほ樂友倶樂部では廿一日夜新入會員の歓迎を兼ね忘年會を催す

▲ソーテルの高山泥華氏宅には毎週土曜日夜觀世流謡曲稽古をはじめ目下十數名の會員がある

▲サンタモニカの古澤巳之午氏一家は一月十日の後間丸で歸國の

▲モチタ日本人會では來たる廿八日午後四時役員會をひらき引つゞき忘年會をひらく

▲サンタバーバラの佛教會は廿五日總會をひらく。なほ樂友倶樂部では廿一日夜新入會員の歓迎を兼ね忘年會を催す

▲ガーデナ在住熊本縣人上野太郎氏は廿一日夜逝去、葬儀は廿三日午後一時から慰問會兼クリスマス祝賀會をやる

▲ガーデナ日本人會では來たる廿三日夕六時半から慰問會兼クリスマス祝賀會をひらく

▲同じくサンタモニカ學園では廿二日午後一時から慰問會兼クリスマス祝賀會をやる

▲サンタバーバラの佛教會は廿五日總會をひらく。なほ樂友倶樂部では廿一日夜新入會員の歓迎を兼ね忘年會を催す

▲ソーテルの高山泥華氏宅には毎週土曜日夜觀世流謡曲稽古をはじめ目下十數名の會員がある

▲サンタモニカの古澤巳之午氏一家は一月十日の後間丸で歸國の

▲ガーデナ在住熊本縣人上野太郎氏は廿一日夜逝去、葬儀は廿三日午後一時から慰問會兼クリスマス祝賀會をやる

▲ガーデナ日本人會では來たる廿三日夕六時半から慰問會兼クリスマス祝賀會をひらく

▲同じくサンタモニカ學園では廿二日午後一時から慰問會兼クリスマス祝賀會をやる

▲サンタバーバラの佛教會は廿五日總會をひらく。なほ樂友倶樂部では廿一日夜新入會員の歓迎を兼ね忘年會を催す

▲ソーテルの高山泥華氏宅には毎週土曜日夜觀世流謡曲稽古をはじめ目下十數名の會員がある

▲サンタモニカの古澤巳之午氏一家は一月十日の後間丸で歸國の

▲ガーデナ在住熊本縣人上野太郎氏は廿一日夜逝去、葬儀は廿三日午後一時から慰問會兼クリスマス祝賀會をやる

▲ガーデナ日本人會では來たる廿三日夕六時半から慰問會兼クリスマス祝賀會をひらく

▲同じくサンタモニカ學園では廿二日午後一時から慰問會兼クリスマス祝賀會をやる

▲サンタバーバラの佛教會は廿五日總會をひらく。なほ樂友倶樂部では廿一日夜新入會員の歓迎を兼ね忘年會を催す

▲ソーテルの高山泥華氏宅には毎週土曜日夜觀世流謡曲稽古をはじめ目下十數名の會員がある

▲サンタモニカの古澤巳之午氏一家は一月十日の後間丸で歸國の

教化事業視察に
石田氏
禪宗寺に來る

富山縣金龍寺住職石田義道氏は歐米の社會教化事業視察のため曹洞宗本山より派遣され龜鄙實氏を同伴し昨日高地着約二月間禪宗寺に滞在同胞の狀態を視察する筈同氏は晴氏社會に身を投じて深刻な體驗をもつ人である

男女佛青
忘年會
來る二十日夜

西本願寺男女佛教青年會には來たる廿日（金）午後八時より本願寺社交室に於て忘年會を催すことになつた。當日のプログラムは補引、音樂、余興等もある

正月初興業
連鎖劇

富士館は

▲思次旅日記

今年は正月興行には何がでるか芝居等は、とやゝ角さ評判してゐるが、日本興行會社では毎年歌舞伎ばかりだしてゐるので今年は少し趣向をかへて、好評を博し度い。特に正月ひさ

南加雜信

▲サンデーゴのフリスコカフエを經營する川崎氏は聯石病でなやんでゐたが紐育聯盟の注意で一週間斷食しオリーブ油とモン水をのんだところ無數の膽石が下り軽方もなく全癒したと

▲サンタモニカの自由業以教會では來たる廿三日夕六時半からクリスマス祝賀會をひらく

▲同じくサンタモニカ學園では廿二日午後一時から慰問會兼クリスマス祝賀會をやる

▲サンタバーバラの佛教會は廿五日總會をひらく。なほ樂友倶樂部では廿一日夜新入會員の歓迎を兼ね忘年會を催す

▲ソーテルの高山泥華氏宅には毎週土曜日夜觀世流謡曲稽古をはじめ目下十數名の會員がある

▲サンタモニカの古澤巳之午氏一家は一月十日の後間丸で歸國の

▲ガーデナ在住熊本縣人上野太郎氏は廿一日夜逝去、葬儀は廿三日午後一時から慰問會兼クリスマス祝賀會をやる

▲ガーデナ日本人會では來たる廿三日夕六時半から慰問會兼クリスマス祝賀會をひらく

▲同じくサンタモニカ學園では廿二日午後一時から慰問會兼クリスマス祝賀會をやる

▲サンタバーバラの佛教會は廿五日總會をひらく。なほ樂友倶樂部では廿一日夜新入會員の歓迎を兼ね忘年會を催す

▲ソーテルの高山泥華氏宅には毎週土曜日夜觀世流謡曲稽古をはじめ目下十數名の會員がある

▲サンタモニカの古澤巳之午氏一家は一月十日の後間丸で歸國の

南加雜信

▲サンデーゴのフリスコカフエを經營する川崎氏は聯石病でなやんでゐたが紐育聯盟の注意で一週間斷食しオリーブ油とモン水をのんだところ無數の膽石が下り軽方もなく全癒したと

▲サンタモニカの自由業以教會では來たる廿三日夕六時半からクリスマス祝賀會をひらく

▲同じくサンタモニカ學園では廿二日午後一時から慰問會兼クリスマス祝賀會をやる

▲サンタバーバラの佛教會は廿五日總會をひらく。なほ樂友倶樂部では廿一日夜新入會員の歓迎を兼ね忘年會を催す

▲ソーテルの高山泥華氏宅には毎週土曜日夜觀世流謡曲稽古をはじめ目下十數名の會員がある

▲サンタモニカの古澤巳之午氏一家は一月十日の後間丸で歸國の

▲ガーデナ在住熊本縣人上野太郎氏は廿一日夜逝去、葬儀は廿三日午後一時から慰問會兼クリスマス祝賀會をやる

▲ガーデナ日本人會では來たる廿三日夕六時半から慰問會兼クリスマス祝賀會をひらく

▲同じくサンタモニカ學園では廿二日午後一時から慰問會兼クリスマス祝賀會をやる

▲サンタバーバラの佛教會は廿五日總會をひらく。なほ樂友倶樂部では廿一日夜新入會員の歓迎を兼ね忘年會を催す

▲ソーテルの高山泥華氏宅には毎週土曜日夜觀世流謡曲稽古をはじめ目下十數名の會員がある

▲サンタモニカの古澤巳之午氏一家は一月十日の後間丸で歸國の

小川少佐入院

特務艦隊戸乘組の小川醫師少佐（廣島縣福山市出身）は腦カタルで本月十日の新病院に入院市同醫師の治療をうけてゐる

南加雜信

▲西羅府（ソーテル）の夜學校で熱心に英語を勉強してゐた第一世の夫人たち約四十名は米人教師を招き樂しいクリスマス祝賀會をひらいた

▲ガタルーブの南彌石工門氏と小山三代松氏は本月末羅府で結婚

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲ラグナビーチの小川醫師は廿三日夜慰問のため出羅し廿四日夜帰る

▲ガタルーブの南彌石工門氏と小山三代松氏は本月末羅府で結婚

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲西羅府（ソーテル）の夜學校で熱心に英語を勉強してゐた第一世の夫人たち約四十名は米人教師を招き樂しいクリスマス祝賀會をひらいた

▲ガタルーブの南彌石工門氏と小山三代松氏は本月末羅府で結婚

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲ラグナビーチの小川醫師は廿三日夜慰問のため出羅し廿四日夜帰る

▲ガタルーブの南彌石工門氏と小山三代松氏は本月末羅府で結婚

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲西羅府（ソーテル）の夜學校で熱心に英語を勉強してゐた第一世の夫人たち約四十名は米人教師を招き樂しいクリスマス祝賀會をひらいた

▲ガタルーブの南彌石工門氏と小山三代松氏は本月末羅府で結婚

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲西羅府（ソーテル）の夜學校で熱心に英語を勉強してゐた第一世の夫人たち約四十名は米人教師を招き樂しいクリスマス祝賀會をひらいた

▲ガタルーブの南彌石工門氏と小山三代松氏は本月末羅府で結婚

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲西羅府（ソーテル）の夜學校で熱心に英語を勉強してゐた第一世の夫人たち約四十名は米人教師を招き樂しいクリスマス祝賀會をひらいた

▲ガタルーブの南彌石工門氏と小山三代松氏は本月末羅府で結婚

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲西羅府（ソーテル）の夜學校で熱心に英語を勉強してゐた第一世の夫人たち約四十名は米人教師を招き樂しいクリスマス祝賀會をひらいた

▲ガタルーブの南彌石工門氏と小山三代松氏は本月末羅府で結婚

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

▲ラグナビーチの坂本氏令嬢義子は本月末羅府で結婚式を挙げる

ベニスバームス
同胞の國勢調査
立派な統計完成
未亡人のボスが二人ある
子福者は十人が筆頭

總耕作面積　千一百英町

羅府市内外の觀光には投新式七人乘りのキャデラックで地理に疎しい遊覧士が御案内申上げます

サンピードロ出入港の船へは最新より乗合自動車を出します

各地へ旅行に最も便利な各スチーム會社及タナー飛行機切符販賣日本人部総代理店であります

世界中最大の天文臺所在地行きキウントウイルソンステーション代理店より毎朝午前九時卅分に出發します

繁公は、自分が近くつけてゆかなかつたら、あの二人に笑はれさうな氣がしてならないのだ。登場人物のすべては、みな仕出しだつて自分をハヤキと認識してもらひたい。まして相手役がきまへ無視されては堪らない。」繁公は自意識に刺戟されて、一塊ぐつと引ッ放したあはひを、ぷたぷたぐつと近寄せはじめた。

だがもう二人は彼れについて繁減するモノ言ふさへない。怖らく、ダニか蝿ほどにも思はないのであらう——

——ヤッパリ等あ馬鹿にしきつてやがる。だが、さうはいかねゝんだぞ。繁公にやあ目があるんだ。耳があんだ。鼻があるんだ。しかも上等のカンで奴

繁公に無遠慮に二人のついうたのは奏樂といふべしたのは奏樂といふべし

▲アナハイム自由業以教會の新會堂は當地著の泰仕で屋根全部出來あがる

▲オクスナード學園慰問會一月五日夜慰問會場所は學務委員長大谷虎二氏宅に決定

▲オクスナードの中村藤之助氏奴等をあつめて、つき合つて見た。それからいかにも奴等にも仕事をさせやあそれでいゝんだ。江戸にやあ君、いまは碌な人間はゐなくなつてゐるんだ。食祿に食つてゐる奴等はいふまでもなく、町人市民もごうにかして今日明日を無事にしのげばいゝといふやうな態度ばかりなんだ。だからちよいと氣ッ風のおもしろい奴は、そいつ等の別世界でおもしろおかしく暮してゆけるといふわけサ。そいつ等が、夜盗、やじり切り、すり、かつさらひ、人賣なんて

ものになつてゐるのさ。ごうして、なかゝ〜人物もあの中にはゐるからな。」

繁公は得々として語つてゐる。

繁公にはそれを聽いて決して反感がわかない——不思議なことだ。それが彼れのいつもの人生觀、社會觀と、いぶかしくも一致するやうに感じられて來る。

——繁公つて奴あ、氣のきいたことをいふ奴だな。なみひと通りのやつじやあねゝ。よつほど遊んだ通人といふ奴かも知れねゝぞ。

繁公は得々として語つてゐる。

繁公にはそれを聽いて決して反感がわかない——不思議なことだ。それが彼れのいつもの人生觀、社會觀と、いぶかしくも一致するやうに感じられて來る。

——繁公つて奴あ、氣のきいたことをいふ奴だな。なみひと通りのやつじやあねゝ。よつほど遊んだ通人といふ奴かも知れねゝぞ。

繁公は得々として語つてゐる。

繁公にはそれを聽いて決して反感がわかない——不思議なことだ。それが彼れのいつもの人生觀、社會觀と、いぶかしくも一致するやうに感じられて來る。

——繁公つて奴あ、氣のきいたことをいふ奴だな。なみひと通りのやつじやあねゝ。よつほど遊んだ通人といふ奴かも知れねゝぞ。

繁公は得々として語つてゐる。

繁公にはそれを聽いて決して反感がわかない——不思議なことだ。それが彼れのいつもの人生觀、社會觀と、いぶかしくも一致するやうに感じられて來る。

——繁公つて奴あ、氣のきいたことをいふ奴だな。なみひと通りのやつじやあねゝ。よつほど遊んだ通人といふ奴かも知れねゝぞ。

繁公は得々として語つてゐる。

繁公にはそれを聽いて決して反感がわかない——不思議なことだ。それが彼れのいつもの人生觀、社會觀と、いぶかしくも一致するやうに感じられて來る。

——繁公つて奴あ、氣のきいたことをいふ奴だな。なみひと通りのやつじやあねゝ。よつほど遊んだ通人といふ奴かも知れねゝぞ。

隱形
その廿一
清川八郎
三上於菟吉

あやつりの絲にひかれる人形には魂がない。だから却てうごきがなめらかで美しくあり得る。繁公にはなまじ心と魂もあるいとのさばきにしたがつて、スタ〜ッ歩いてゆくわけにはいかない。とかくギグ〜と突かれる。

——あいつらあどこへ行かうとするんだらう——

安穩と徐濟は肩と肩をすりよせるやうにしてスタ〜ッ歩いて行く。

——もうスッパ抜きなんかにやをごうきやあしねゝぞ。俺あ知つてゐるつもりだ。スッパ抜きのがすつかつたりこだわつたりする。

——あいつらあどこへ行かうとするんだらう——

安穩と徐濟は肩と肩をすりよせるやうにしてスタ〜ッ歩いて行く。

——もうスッパ抜きなんかにやをごうきやあしねゝぞ。俺あ知つてゐるつもりだ。スッパ抜きのがすつかつたりこだわつたりする。

——あいつらあどこへ行かうとするんだらう——

安穩と徐濟は肩と肩をすりよせるやうにしてスタ〜ッ歩いて行く。

——もうスッパ抜きなんかにやをごうきやあしねゝぞ。俺あ知つてゐるつもりだ。スッパ抜きのがすつかつたりこだわつたりする。

——あいつらあどこへ行かうとするんだらう——

安穩と徐濟は肩と肩をすりよせるやうにしてスタ〜ッ歩いて行く。

——もうスッパ抜きなんかにやをごうきやあしねゝぞ。俺あ知つてゐるつもりだ。スッパ抜きのがすつかつたりこだわつたりする。

大特價
歳末の賣出し

皆様の店、品が良く平素御引立て下さる皆様へ本年最後の奉仕として廿一日まで犠牲的廉價を以て華々しく賣出しました

安い　安い

御贈答品
スミス白米（五〇〇番）
醤油（亀甲萬）
新茶（美麗園人、鐵人）
瀬戸物（各國特產多數）
漆器（輪島、黒江）
商品券

年末大賣出し

東西屋式の大々的大安賣り致して平素の御愛顧に報いん爲め十二月一日より廿一日まで御買物に依りそれ〜御歳暮品並にカレンダー差上候間ドシ〜御來店下され度候

◎安賣り一例

◎竹の子　五ケ
◎ふき　六ケ
◎かまぼこ　六ケ
◎昆布巻　六ケ
◎天ぷら　十ケ
◎小貝水煮　五ケ
◎松茸極上　三ケ
◎松茸切　三ケ
◎鶴松茸丸　四ケ
◎ウナギ　四ケ
◎ホッキ貝（大）五ケ
（中）八ケ
◎鮑水煮　五ケ
◎鯛東煮　六ケ
◎鯛みりん焼　五ケ
◎飯蛸　五ケ
◎椎茸袋入　四ケ
◎大豆水煮　五ケ
◎小芋水煮　四ケ
◎日清水煮　五ケ
◎廣島蠣（味附）八ケ
◎牛肉スキ焼（大）四ケ
（中）七ケ
◎牛肉竹の子　四ケ
◎牛肉野菜煮　四ケ
◎牛肉串焼　四ケ
◎牛肉松茸　四ケ
◎牛肉大和煮　五ケ
◎貝柱水煮　八ケ
◎同（味附）　五ケ
◎かに　一ケ
◎鮭（上）五ケ
八ケ
◎貝柱　九十五仙
◎牡蠣（上）一弗
◎小豆　一弗
黒豆　三斤
◎數子（上）一斤　二十五仙
かまぼこ　六ケ　三十五仙
ウナギ（大蒲）四ケ　一弗
淺草海苔（上）三帖　九十五仙
サザエ　五ケ　九十五仙
◎松茸上等　三ケ　九十五仙
◎松茸切　三ケ　九十五仙
◎鶴松茸丸　四ケ　一弗
ミリン漬（白菊印）四ケ　一弗

◎安賣り一例

元加州ワスコ・パーム農園に就働中の

由谷作藏氏の現住所知り度し

日米社會計部

種子は
本場のギルローイで沿岸日本人中最大の種子生産販賣者たるグロアー種子株式會社に御注文下さい

Growers Seed Co.
P. O. Box 681
Gilroy, Calif.

JAPANESE HOSPITAL of L. A.
101 S. Flcket St., L. A.
羅府南フイケット街一〇一
電話アンゼラス七一五七
七一五八・七一五九
最新式設備
氣持よき病室四十一
檢査室、分娩室
看護婦及見習生募集

大小二手物室
ヴイクター X 光線
日光浴室
和洋食調理
羅府日本人病院

一人撃一西元克馬
島郡和田村西元新吉君の六男有は重要今件あり住所御通知の方に謝礼を呈す　須市　西元健一
Rt.6 Box 316 Stockton, Cal.

羅府北サンピドロ街二一〇
（合同教會の直ぐ傍）
西見商店
電話　ツタカ　一八一五

年末大賣出し

直輸入商
東西屋
254 E. First St. L. A. Cal.
パンダイヤ（VA）二七九二

年中無休で大評判の大安賣り

其の他店内全部に亘り大々的の大安賣り

羅府東一街三二八
電話タッカー一九九六
正月裝飾用の
伊勢海老、鯛其他豐富
O・K魚店

羅府東一街二二三
太平洋印刷所
電話タッカー六〇六〇

日米官廳手續一切無料
晝夜遠近に不拘御用命に應ず
日本人葬儀社
羅府ターナー街七〇七
電話TU. 3410 支配　福井齊

羅府日米新聞
勞働日周旋、日本行汽船切符
羅府北サンピドロ街二一〇
電話TU八九五〇營業部
PA五〇九六編輯部

肥後屋ホテル
館主　宮本常藏
電話MB　六二七七

羅府東一街二三三
日米支社
羅府北サンピドロ街一七
電話（MU）ユーチューアル八四一五

特價販賣
放射　蒸熱
電氣治療機
野一色電氣研究所　支部
Los Angeles, Calif.
604 E. First St.

羅府東一街三二九
富尾ビルヂング十二號室
赤名法律事務所
赤名精一
電話フェアー（FA）四七四二

羅府東一街二一九
第一街グラージ
電話TU二六一八
風早勝一

羅府東一街二一三半
大久保齒科醫院
Tel. MOtual 5407

同胞營業に最も氣持の好い
商等支那料理
新裝なれる三光樓
羅府東一街二二八
電話タッカー五六二九

羅府東一街二一三半
南加印刷所
山田作次
電話パンダイヤ（VA）〇二三六

迅速、鮮明、叮嚀

UNION HOTEL
845 E. 1st St.
Los Angeles Cal.
サンゼルス市
ユニオンホテル
館主　追田敬義
電話ミッドウェイ〇八一〇

羅府富尾商店二階一號室
赤堀法律事務所
赤堀
通信　P.O. Box 713, L. A.
電話　TUcker 8634

VA(82)3377
ラッキーダキン
122 N. SAN PEDRO ST.
一度御乘り下さい
白人のタキシー
羅府市内外の觀光には投新式七人乘りのキャデラックで地理に疎しい遊覧士が御案内申上げます
サンピードロ出入港の船へは最新より乗合自動車を出します
各地へ旅行に最も便利な各スチーム會社及タナー飛行機切符販賣日本人部総代理店であります
世界中最大の天文臺所在地行きウントウイルソンステーション代理店より毎朝午前九時卅分に出發します
一ローユビルベラトーキツラ

羅府東一街二二六
アランホテル
館主　實
電話（MU）〇六二六

シャポレー及ホード自動車販賣
夜
兼
行
SKグラージ
羅府北サンピドロ街一二四電話TU（タッカー）七二一八

米國製
最新式
エレクトリート電氣治療機
電氣治療機界の王さして過去一ケ年間に一萬個を賣り出したる（十五弗）外に今回更らに一大改良を加へ從前より大型歓倍温の大除力を現はし多年鬱苦痛を極めし惡疾なる神經痛、リョウマチス、胃潰、胃鬱、腸節、胃鬱、其他諸病忽ち氣持ち好く治さる徹底的新真機が生れました（十七弗五十仙）
太平洋沿岸布哇日本一手販賣
流感の最上治療機　亀命養生院
電話TU五九二九　217 N. San Pedro St. L.A. Cal.

かまぼこ
長本
羅府ウェストソン西三一三
電話（VA）二八二七

茶
松葉茶CO.
P.O.Box 2355
L.A. CALIF.

確實迅速
サンピードロ
グラージ
羅府北サンピードロ街二一一
電話タッカー（TU）五五〇七

小谷保險事務所
小谷英雄
羅府東二街三二六
（アサヒグラー内）
電話　VAndike 九六九六

農家の一大福音補助肥料
促肥素
南加州取次販賣店
羅府東一街三四七一九
電話　TU　二三〇八

勸工場
加州公認松本觀料醫院眼鏡日本人向特別調製
眼科檢定
羅府東一街二二半
電話（MU）八九七六

福山家具金物店
電話　VA六六四二　住宅八九五〇
羅府東一街二一八
福山敬吉

オキシヘーラー
ラッス（熱無電療機）
Pacific Fuel & Heat Co.
877 E. First St. Los Angeles
羅府東一街二一八
電話　VA六六四二　住宅八九五〇

ホテルバレー
HOTEL VALLEY
Phone VA. 8336
105 S. Hewitt St. L. A. Cal.
主人　矢野不二男

新建築、出入國手續一切
簡易食堂　△勞働口周旋
羅府最旅館改め
ホテル　ベレー
主人　矢野不二男

民刑法律事務移民事項
安倍法律事務所
法學士　安倍俊吾
羅府ウエラー街一二八（ベレスホテル）電話MUTOXX

大阪藥店
公認調劑
無郵料送

グッド城岩

◎胃腸ダイゼリン　一打分四弗　十日分一弗五十仙
如何なる急性慢性の胃腸病も徹底的に根治せしむる確信を以て創製したる本劑は發賣以來數多の服用實驗者によりて益々其價を認められ今や胃腸劑中の最高權威として白熱的の歓迎を受けつゝあり

◎淋病　内服藥　ゴノキール　二週間分五弗　四週間分九弗
獨逸醫學博士ハフキン氏多年の研究によつて調製したる本劑は急性慢性の淋病に著しく効能あり内服藥なるが故に洗滌器を要せず

◎梅毒、淋毒、ピューリン　ハフキン博士　價五弗
梅毒、淋毒、ニキビ吹き出もの等は大百六號注射を要せず體内の毒氣を取得る家庭治療劑

◎殺菌　座藥　セーフテーファスト　ハフキン博士　二弗、五弗
電温によりて二分にて溶け終りの毒菌を撲滅する繊弱な膣内殺菌劑なり

◎ヴイタミンA　五弗　二弗
世界代表的榮養素として各國政府特許帝國學士院賞受領

◎ゴム製品サック類　一弗五十仙以上
◎機能發育器　一打　十弗五十仙以上
◎安ケイージー月さらへ　一週間分　五弗
◎男女強精トツカビン　一弗五十仙

◎運信販賣——發料不要
加州羅府東第一街二〇一（Tel. MU 6516）
THE IWAKI DRUG CO.
201 E. First St., L. A. Calif.

特別地方
大至急御註文下さい
良い品を嚴選して大々的に廉價販賣する
店

特價一例

◎ヴイタミンA　二弗
◎通經丸　特製　五弗
◎ゴノタール　名物十數見
◎殺菌座藥　三十回分　二弗
◎特製清腋散　一箱二弗
◎ヴイタミンA　五〇〇
◎活力素　二〇〇
◎強精錠　五〇〇
◎人參精　三五〇
◎機能發育器　十八弗
◎ゴノキール　十弗
◎ピューリン　十弗
◎ヴイタミンA　二弗
◎ゴム製品サック類　一弗五十仙以上
◎機能發育器　一打　十弗五十仙以上
◎安ケイージー月さらへ　一週間分　五弗
◎男女強精トツカビン　一弗五十仙

OSAKA DRUG CO.
1394 Pac. St., S. F. Calif.

正月かまぼこの御注文に應じます
地方よりの御注文は大至急御申し込み下さい

美か
術ま
意こぼ
匠こ
細各
工種

羅府東一街三百四十二番半
蒲善
電話ミッチェル（MU）八七〇六

フレスノ【十五日】

貿易と理想主義の上より日米協調の力説

ロータリ倶樂部で川崎寅雄氏の講演

▲寄附 平野嘉郎氏より再護来記念として神歌修養會へ五弗

▲ロータリ倶樂部 ▲ボールス 去る十五日昼の例會は國際クラブに招待されたボールス親和會および國際時事研究會において出席者は委員の報告を承認した後國會議員の選挙に際し出席者は委員の報告を承認した後國會議員の選挙に際し出席者は委員の報告を承認した後國會議員の選挙に際し

サクラメント 支社 電話 三〇六六【七日】

州統計課長 辭職して釋罪と 空嘯げば州衛生局長は辭職させるものかと頑張る

州衛生局に屬する州生命統計課の農業業者有田鶴松氏は十八日出帆のコレヤ丸で歸國すべく十七日當市出發

●寄附　久保田勝美氏より歸國記念として五弗を櫻學園に寄附

州衛生局の主任技師エル・イー・ロフスがウナグローブの某日本人少女の出産證を偽造し二十五弗を受け取りこれを署名したことは其他の類似の事件と共に摘發され保護者なしなりとロフス氏が右を寃罪なりと主張するものから衛生局長のウオター、エム、デフター醫師が業を煮やし

▲州檢事總長　補のゼス・ヘンション氏に調査を依頼し正にシビルサーベス、コンミッション前に申開きの暮となるべき管なりしところ同氏は去る十四日午後八時より同學園内において最終審査を開き同氏は約一時間にわたり同日座にかけ易學の用水ポンプは法律上違反の點あり、依つてプラシャポンプを設置する事一、母の會の件　一、母の會は婦人大原綱氏の長男忠治君（一年生）は急病にてダメロン病院に入院加療中、父兄の會は今十八日午後二時から郡市佛教會で催まれる筈

▲三年生　辻田茂
▲四年生　小畑グレス　中村ホ
▲五年生　野口讓次　野嶋トシ
▲六年生　迫川拳喜　小畑ベンジャミン　津田ハレー　濱田米生　星崎禮次　大久保賞
▲八年生　以上廿五名はパカビルレポーター

●第一學期優等生　當地ユニオングランマーの在學生總數五百六十七名の中に日系市民兒童の通學生は幼稚園生ともに百二十五名以上あるが今回クリスマス休暇前に發表された第一期の平均九十點以上の第二世の日系兒童の優等生左のごとし

▲一年生　瀧本愛子　中村榮子　津田政子　島田芳郎　宮崎ベン　佐々木セツ子　星崎明　野口桑藏　齊藤ユリ子　中谷メリー　小村慶造　廣瀬菊枝

●寄附　松原天人は過日記念として婦人會および佛教會に各五弗、坂本仁太郎氏は歸國記念として婦人會、學園、熊本海外協會佛教會に各五弗づつ廿弗寄附されたり

パカビル【十六日】

●成田　河村兩氏出發　プレゼントの購入のため去八日出發美事なる贈りものを購入のうへ同日歸村

●島勝演劇　鈴木法學士は布市における老人マラソンに大勝し去日布市より來翌日座にかけ易學の用水ポンプは法律上違反の點あり、依つて演劇にあらはれ約一時間にわたる講演を試みたりとの事なれば同氏は來十九、二十日の兩日易を中止し置たるが教師および枝の親密をはかるため再起を希望す

一、教師に對して年末賜與として廿五弗をおくること　一、稟賀式　一月一日の稟賀式は同日午後一時より學園にて開催す

稟賀式司會者　板家、金剛石生　村内代表挨拶　藤田、藤太田、藤二郎氏としてプログラム追つて發表すべしと

雨は尚半分量

去る日曜午後五時ごろは須市を中心として猛雨ありたるが十六日正午までの本年度の降雨は一インチ七分にして平均四インチ半分量に達せずと

加藤氏結婚擧式

去る十一月十八日夕刻富市本町一丁目の加藤四郎氏の媒介により米賀屋野夫人と婚約中の令嬢ヨシ子さんとの結婚式は盛大に擧行され、會場は滿堂に滿ち土方牧師司式の後、夫人の父母、夫人の兄嫁、吾妻町出身夫人、教會村岡牧師、夫人の友人樋坂榮一等代表者別の辭あり、藤田正一氏答辭ありて、夫人の父母おくりの後、夫人は新郎の一氏に隨族に代り謝辭を述べ郊外おくりの後エムシ街チャプスイで會衆をはげましたり

●宮崎夫人出發　東京女學校の學生宮崎夫人は令嬢の伴せて七日午後三時十五分のエスピー線で出發す

●故友枝氏告別式　當市日本人故友枝正明氏の告別式は昨十六日午後二時より浸禮教會にて行はれ、會堂は滿堂に滿ち土方牧師司式の後、故人の父母、夫人の兄嫁、吾妻町出身夫人、教會村岡牧師、夫人の友人樋坂榮一等代表者別の辭あり、藤田正一氏答辭ありて、夫人の父母おくりの後、夫人は新郎の一氏に隨族に代り謝辭を述べ郊外おくりの後エムシ街チャプスイで會衆をはげましたり

●有田氏歸國　西サクラメント支社　電話三〇六六【七日】

州統計課長 辭職して釋罪と 空嘯げば州衛生局長は辭職させるものかと頑張る

州衛生局に屬する州生命統計課の農業業者有田鶴松氏は十八日出帆のコレヤ丸で歸國すべく十七日當市出發

●寄附　久保田勝美氏より歸國記念として五弗を櫻學園に寄附

これと類似の事件摘發され保護者なしなりとロフス氏が右を寃罪なりと主張するものから衛生局長のウオター、エム、デフター醫師が業を煮やし

▲州檢事總長　補のゼス・ヘンション氏に調査を依頼し正にシビルサーベス、コンミッション前に申開きの暮となるべき管なりしところ同氏は去る十四日午後八時より同學園内において最終審査を開き同氏は約一時間にわたり同日座にかけ易學の用水ポンプは法律上違反の點あり、依つてプラシャポンプを設置する事一、母の會の件　一、母の會は婦人大原綱氏の長男忠治君（一年生）は急病にてダメロン病院に入院加療中、父兄の會は今十八日午後二時から郡市佛教會で催まれる筈

▲三年生　辻田茂
▲四年生　小畑グレス　中村ホ
▲五年生　野口讓次　野嶋トシ
▲六年生　迫川拳喜　小畑ベンジャミン　津田ハレー　濱田米生　星崎禮次　大久保賞
▲八年生　以上廿五名はパカビルレポーター

強盜殺人 嫌疑者裁判

開廷は明年一月六日

去る十一月十八日夕刻富市ラタ商店を襲ひ五百弗を奪ひ店員を殺したるフルバート、ボワスおよびジョージ、デビスの殺害は共に明年一月六日に開廷することに決定したがラタ商店に出動せる二名の警人マッデ、ウイーランドとヘエスター、ウイーランドは右嫌疑の二名を真犯人と判識せるが唯一の證人として外界よりの誘惑又は危險のおそれがあるので官憲から護衛されてをるとつてをるやうだ

最終年度 決定事項

郊外語學園 スタクトン【十六日】

●櫻學園　フレンチキャンプ在郷軍人會は去る十四日午後八時より市内代表者挨拶　藤田、藤太田、藤二郎氏としてプログラム追つて發表すべしと

●故友枝氏告別式　當市日本人故友枝正明氏の告別式は昨十六日午後二時より浸禮教會にて行はれ、會堂は滿堂に滿ち土方牧師司式の後、故人の父母、夫人の兄嫁、吾妻町出身夫人、教會村岡牧師、夫人の友人樋坂榮一等代表者別の辭あり、藤田正一氏答辭ありて、夫人の父母おくりの後、夫人は新郎の一氏に隨族に代り謝辭を述べ郊外おくりの後エムシ街チャプスイで會衆をはげましたり

●櫻學園　フレンチキャンプ在郷軍人會は去る十四日午後八時より市内代表者挨拶　藤田、藤太田、藤二郎氏としてプログラム追つて發表すべしと

●稻垣氏入院　須市東ワシントン街六番富貴寄稻垣愛氏は十五日夜間急行性寒冒より性肺炎に變じダメロン病院に入院す

●大原氏二男入院　東ラフエット街在住大原綱氏の次男（一才半）はこれも寒冒より急性肺炎にすゝみ同日ダメロン病院に入院したりと

●櫻月より戻る　サツマヤ、ホテル山口利一氏は十日以來櫻月旅行のため南加方面に滯在中なりしが本日朝當市歸着す

●岡縣人杉利伴氏夫人は須市北郡産院の助産にて去十四日女兒出産母子とも健全であると

●島勝演劇　鈴木法學士は布市における老人マラソンに大勝し去日布市より來翌日座にかけ易學の用水ポンプは法律上違反の點あり、依つて演劇にあらはれ約一時間にわたる講演を試みたりとの事なれば同氏は來十九、二十日の兩日易を中止し置たるが教師および枝の親密をはかるため再起を希望す

一、教師に對して年末賜與として廿五弗をおくること　一、稟賀式　一月一日の稟賀式は同日午後一時より學園にて開催す

稟賀式司會者　板家、金剛石生　村内代表挨拶　藤田、藤太田、藤二郎氏としてプログラム追つて發表すべしと

雨は尚半分量

去る日曜午後五時ごろは須市を中心として猛雨ありたるが十六日正午までの本年度の降雨は一インチ七分にして平均四インチ半分量に達せずと

加藤氏結婚擧式

去る十一月十八日夕刻富市本町一丁目の加藤四郎氏の媒介により米賀屋野夫人と婚約中の令嬢ヨシ子さんとの結婚式は盛大に擧行され、會場は滿堂に滿ち土方牧師司式の後、故人の父母、夫人の兄嫁、吾妻町出身夫人、教會村岡牧師、夫人の友人樋坂榮一等代表者別の辭あり、藤田正一氏答辭ありて、夫人の父母おくりの後、夫人は新郎の一氏に隨族に代り謝辭を述べ郊外おくりの後エムシ街チャプスイで會衆をはげましたり

●宮崎夫人出發　東京女學校の學生宮崎夫人は令嬢の伴せて七日午後三時十五分のエスピー線で出發す

●有田氏歸國　西サクラメント支社　電話三〇六六【七日】

州統計課長 辭職して釋罪と 空嘯げば州衛生局長は辭職させるものかと頑張る

州衛生局に屬する州生命統計課の農業業者有田鶴松氏は十八日出帆のコレヤ丸で歸國すべく十七日當市出發

●寄附　久保田勝美氏より歸國記念として五弗を櫻學園に寄附

これと類似の事件摘發され保護者なしなりとロフス氏が右を寃罪なりと主張するものから衛生局長のウオター、エム、デフター醫師が業を煮やし

▲州檢事總長　補のゼス・ヘンション氏に調査を依頼し正にシビルサーベス、コンミッション前に申開きの暮となるべき管なりしところ同氏は去る十四日午後八時より同學園内において最終審査を開き同氏は約一時間にわたり同日座にかけ易學の用水ポンプは法律上違反の點あり、依つてプラシャポンプを設置する事一、母の會の件　一、母の會は婦人大原綱氏の長男忠治君（一年生）は急病にてダメロン病院に入院加療中、父兄の會は今十八日午後二時から郡市佛教會で催まれる筈

▲三年生　辻田茂
▲四年生　小畑グレス　中村ホ
▲五年生　野口讓次　野嶋トシ
▲六年生　迫川拳喜　小畑ベンジャミン　津田ハレー　濱田米生　星崎禮次　大久保賞
▲八年生　以上廿五名はパカビルレポーター

強盜殺人 嫌疑者裁判

開廷は明年一月六日

去る十一月十八日夕刻富市ラタ商店を襲ひ五百弗を奪ひ店員を殺したるフルバート、ボワスおよびジョージ、デビスの殺害は共に明年一月六日に開廷することに決定したがラタ商店に出動せる二名の警人マッデ、ウイーランドとヘエスター、ウイーランドは右嫌疑の二名を真犯人と判識せるが唯一の證人として外界よりの誘惑又は危險のおそれがあるので官憲から護衛されてをるとつてをるやうだ

最終年度 決定事項

郊外語學園 スタクトン【十六日】

A Newspaper For All Peoples Interested in the Welfare of Japan and The Japanese People

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

The Largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

NUMBER 10828. Entered at the San Francisco Post Office as Second Class Matter. SAN FRANCISCO, CALIF., WEDNESDAY, DECEMBER 18, 1929. Copyright 1928 By The Japanese American News Per Month $ 1.00 Per Year $11.00

K. SUZUKI IS WINNER IN FRESNO RUN

Trained on Tobacco, Japanese Wins in 10-Mile Race

Special to The Japanese American News

FRESNO, Dec. 17—Cigarettes won an overwhelming victory in the city of Fresno Saturday at the Fresno State college stadium when Kosai Suzuki, Japanese marathon champion and an inveterate consumer of the evil weed, gave Capt. Gene Estoppey a fancy trimming in a 10-distance grind. As a matter of fact, the 10-mile length was shortly more than twice the distance the captain was able to negotiate. He fell, tired, exhausted and his muscles tied up at the completion of the twenty-first lap, exactly five and one-quarter miles.

Whether the professor is on his first or last carload of coffin nails seems to make little difference in his wind, and he finished the 10 miles with apparently plenty to spare, turning out the last lap in better time than any of the previous 39. It was brilliant victor for the weed, and already I have replenished my stock in hope that it may do my poor lung capacity a little good. It was also heard in the stadium, spotted by something better than 100 persons, that coaches in Fresno will in all probability have a much more difficult time keeping their charges in training than previously.

MAKES GOOD TIME

The professor's time for the 10 miles was 84 minutes 27 seconds.

The race of the century so far as this town is concerned, or what may fit the encounter more closely, the race of the "old men," or the test between the abstainer and the indulger, was good while it lasted, the captain, known also as Chief Flying Heart staying right in the tracks of his Japanese opponent, but the route was simply more than that for which he had bargained.

Early in the race he showed signs of tiring and his muscles soon began to work as they shouldn't. At the end of five miles when he was notified that there were only 20 more laps to run he stated he would run one more and in that last lap he gave his best trying to cross the line ahead. On the last turn he tried to forge ahead, but couldn't make it and made another effort on the straightaway, but the Nipponese runner, who admits to 49 summers, stepped away from Chief Flying Heart like some of the newer and lower slung automobiles leave some of the earlier models of flivvers.

FINISHES FRESH

The chief was the subject of much inquiry as he fell prostrate on the track, but despite that commotion Suzuki plodded on to the end. He appeared hardly exhausted at the finish and only slightly tired. Today, so far as Estoppey is concerned, he is the "old men's running champion of the world," but not for long, the captain found breath to tell Mayor Z. S. Leymel and his company, who witnessed the race. Despite muscles in one leg so badly tied up that it was painful hobbling into the dressing quarters, Estoppey is planning to regain lost honors in San Francisco around the first of the year when he races the professor again, this time over the full marathon distance of 26.385 miles.

Takeo Suo Elected Leader of Bowles Young Men's Club

Special to The Japanese American News

FRESNO, Dec. 17—Takeo Suo, a well known orator and athlete, was elected president of the Bowles Y. M. A. at its annual election held on Friday, Dec. 13. He was also chosen the Y. M. A. delegate to the Fresno County Young Men's League.

Other officers are Masao Nakata, vice-president; Morito Nakata, secretary; Shigetto Miyabe, corr. sec.; Hiroshi Arakawa, treas. Itsuto Yokomi, auditor; aKoru Nagai, athletic mgr.; Isamu Nanba, yell leader.

These officers will be installed at a meeting in a near future. Shigetto Miyabe, corresponding secty., will also act as the club press agent.

DINUBA TO MARK XMAS

Epworth League Fete Will Be Staged at Orosi Hall

Special to The Japanese American News

DINUBA, Dec. 17—A Christmas pageant, to be staged and directed by the league members, will be the main number in the Christmas program which will be given by the Dinuba Epworth League at the Orosi Japanese hall on the evening of Dec. 25.

Those in the cast are conducting earnest rehearsals, and they promise an effective and colorful performance. The local Japanese community is waiting the date of the play with much anticipation. The Rev. Mr. Oishi of the Dinuba M. E. Church will coach the play.

Other numbers of the program will be presented by the Dinuba and Orosi Sunday school.

The cast for the pageant follows:

Joseph ..... Kay Hanada
Mary ..... Alice Okasaki
Shepherd ..... Henry Furubayashi
Rebecca ..... Miyo Yamamoto
Rhoda ..... Edith Yokoyama
Landlady ..... Mae Okasaki
Villagers—Lily Tashiro, Shizu Takakura, Haru Tashiro.

6 GRADS GET DIPLOMAS AT ALAMEDA HI

Six Others Graduate From Grade Schools Of Same City

Special to The Japanese American News

ALAMEDA, Dec. 17—Six Japanese students of the Alameda High School graduated with high honors at the commencement held Thursday night at the school auditorium. These students were commented favorably for their high scholastic standing in their class, and some of them were members of the Star and Key honor society.

The graduates include Kinue Imura, Yoshie Matsuura, Masaru Nakano, Shigeo Takagi, John Towata, and Dorothy Towata.

Six Japanese students of the various grammar schools in Alameda received their diplomas at their respective school commencements Friday morning. The list follows:

Porter School, Louise Towata, Joseph Yoshino; Haight, Misue Ozeki, Sumiye Kuge, Leroy Kajiwara; Lincoln, Grace Nomura.

Ray Kaneko Chosen President of Local 'YM' Comrade Club

Ray Kaneko, a student of Galileo high school, was elected president of the Comrades Club of the local Y. M. C. A. last Sunday.

Supporting him in the cabinet will be Susumu Takao, vice president; Takeo Baba, recording secty; Mamoru Endo, corr. secty.; Wilbur Takiguchi; Yoshio Toriumi, assistant treas; Dave Tatsuno, yell leader; Shoji Doi, music director.

The president-elect is talented in dramatics. He is also a noted basketball player. He made the all-city high school team a year ago and was considered one of the best shooters in the city.

Kyoto College Grad Leads Emigrants to Argentine Colony

TOKYO, Dec. 16—Shibao Sakaki, a recent graduate of Kyoto Imperial University, today led a group of ten families for immigration to Argentine in So. America with the ¥30,000 loaned him by the Japanese Argentine colonial company. The ship on which the emigrants are to journey to their new homes left Kobe today.

The present project is attracting a nation-wide attention, and the venture is regarded as setting a precedent for other immigration parties to releave the tense non-employment situation in Japan.

Miss Kurasaki Is Elected President Of S. J. Girls' Club

Special to The Japanese American News

SAN JOSE, Dec. 17—Miss C. Kurasaki was elected president of the local Girls' Club at its semi-annual election of officers held recently in this city.

Other officers:

Vice pres. ..... Lena Takaichi
Sec.-treas. ..... Irene Imada
Ath. mgr. ..... Mildred Uyemura
Yell leader ..... Chicho Tsunashima
Reporter ..... Emily Kawakami

Miss Ruth Inouye, past president, acted as the chairman at this election meeting.

EAGLES GET HIGH HONORS

3 Scouts of Troop 12 Join Knights of Dunamis Body

Eagle Scouts from many parts of California, including three Japanese of the local Troop 12, participated Saturday night at the organization of a grand chapter of the Knights of Dunamis, founded in San Francisco to perpetuate the spirit and principles of scouting in boys who have attained the Eagle Scout rank.

These Japanese Eagles are Shoji Doi, Shizuo Okamoto, and Sunao Iwatsu. Sunao Iwatsu, a Hamilton Junior high school student, graduated from that school with one of the highest honors.

The scoutmaster for the troop is Y. Sano.

Government Reports Reveals Japan Has 63,000,000 People

TOKYO, Dec. 13—The population of Japan has been officially established at 62,938,200, as investigated on October 1, last. Population figures are detailed as follows:

GRAND TOTAL

Males 31,683,400
Females 31,254,800
Total 15,376,500

URBAN POPULATION

Males 7,957,700
Females 7,418,800
Total 15,376,700

SUBURBAN POPULATION

Males 23,725,700
Females 23,836,000
Total 47,561,700

Osaka ranks first with 2,408,800, Tokyo second with 2,294,600. Nagoya which has attained a remarkable development in recent years as an industrial city is third place with 904,700, surpassing Kyoto and Kobe, in fourth and fifth places.

Japan has as many as 28 cities with a population of over 100,000.

2 PLAYS TO USHER XMAS NIGHT FETE

Cast Made Known for Christian Church Skits on Dec. 25

The Japanese Church of Christ will celebrate Christmas this year as usual with an elaborate program to be staged in the chapel on Post street on Christmas Day, Dec. 25. The program will be marked by the presentation of a play, "The Gifted Giver," by members of Fred Koba's senior class.

The cast for the play follows:

Helen, May Fujita; Aunt Grace, Dorothy Fujita; Kathryn, Eugenia Fujita; Dalla, Nobu Suzuki; Harold, Roy Kaneko; Donald, William Enomoto; Norman, Wilbur Takiguchi; Chester, George Baba;

The cast for "The Dropped Letter," to be given by T. Murayama's intermediate class, follows:

Mr. Doitrie, Fred Hoshiyama, Mike, Hideo Suzuki; Colored Boy, Mitsuo Kaneko; Chris Hansen, T. Yamazaki; Dick, Minoru Endo; Lee Hun, Tom Hoshiyama; Johnnie Beard, Masao Yamada.

Fred Koba, acting superintendent of the Sunday School, is chairman of general arrangement and program. The complete program will be announced in these columns shortly.

Cabinet Decides to Indict Yamanashi on Korea Bribe Charge

TOKYO, Dec. 17—The Imperial Cabinet, headed by Premier Yuko Hamaguchi, today decided to launch a formal indictment against Gen. Hanzo Yamanashi, a former governor general of Korea, for his alleged connection in a huge bribe scandal which occurred there during his administration.

Before this decision was reached at today's session of the cabinet friends of the veteran general started a move to prevent his prosecution. However, Gen. Yamanashi, convinced that he will be exonerated at the trial, stopped his friends' interference.

A conference between the Premier and Minister of Justice C. Watanabe, Army Minister Issei Ugaki, and Governor General Saito of Korea was held prior to the cabinet decision.

Nippon's Davis Cup Defy in Europe Zone Will Remove Drama

NEW YORK, Dec. 17—Japan's decision to challenge for the Davis cup in the European zone this year smothes the path of the United States team in the early stages of its 1930 campaign but at the same time removes some of the drama from the prospective Davis cup play in this country. Only Canada, Cuba and Mexico now appear likely to oppose the Americans in the home zone next season.

REGULAR VISITORS

Japan never before has conducted its Davis cup campaign in the European zone. Since the zone system was inaugurated in 1923 the Japanese have been regular visitors to American shores where their fast and clever players have provided plenty of tennis thrills.

In 1923, 1924 and 1925 Japan's representatives were eliminated by Australia; in 1926 and 1927 they were beaten only by France in the interzone final, and in 1928 and 1929 they were put out by the United States players. It was back in 1921 that Japan, represented by Shimizu and Kumagai, reached the challenge round only to be beaten by America's team, headed by Tilden and Johnston.

YOSHIRO OHTA

True to their traditions of keen competition, the Japanese were the only team to win a single match from the United States in the American zone in 1929. Yoshiro Ohta, at the expense of John Van Ryn, again is to be playing for Nippon as is Tamio Abe, and for reinforcements the Japanese have Takeichi Harada, a veteran who was ranked third in the United States when campaigning in this country three years ago, and Hyotaro Sato, a newcomer of whom much is expected.

Christmas Spirit in S. F.

The Christmas Spirit is in the air!

Here is a group of local Japanese girls, all in their dainty Japanese kimono waiting for the good cheers which Santa Claus will bring them. From the left to right: Yoshiko Takiguchi, Yasuko Isoye, and Takako Suzuki. Below is Seiko Takiguchi with her little Japanese doll. These children are all pupils of the Kinmon Gakuen, 2015 Bush street.

Elaborate plans for the Yule are being made by the 7000 Japanese residents of San Francisco. Every school and church is having a party, with a tree and a Santa Claus who will bring a sack brimming with gifts.

—Photo courtesy of S. F. News

EDUCATION BY LIVING

By GLENN FRANK

Yesterday I spoke of an old education that was dominated by a philosophy of stuff and store—the teacher stuffing the students with information, the student storing the information for later use.

Today I want to speak of a new education that is dominated by a philosophy of learning by living rather than learning for living.

This new education dislikes the phrase "learning for living" because it seems to suggest that we can postpone living until we have learned how to live, and that after we get out of school we can live on what we learned in school.

In the old education, the school was the home of learning.

In the new education, the school is simply one of the instruments of learning.

In the old education, the youngster learned how to live intelligently as an adult by memorizing information and rules for later use.

In the new education, the youngster gets his best training for living intelligently as an adult by being helped to live intelligently as a youngster.

In the old education, youth was a preparation for life.

In the new education, youth is a part of life.

In the old education, the school monopolized education, and education was something that happened to children in school rooms.

In the new education, the school simply manages and directs education, which is seen to be something that is happening to children and grown ups all the while, outside as well as inside school rooms.

Franklin Bobbitt, whom I quoted yesterday, quite accurately defines this new conception of education as "current right living." And he says the following wise things about this new education:

"This practice in high-grade living of a sort appropriate to one's age, nature, and situation should be going on all the time, whether one is at home or at school. The school will provide some of the opportunity for current practice of these activities; the home and the general community life will have to provide a still larger portion. The school will have the child five or six hours a day; the home, eighteen or nine-tine hours a day. The school will have him twenty-five or thirty hours a week; the home will have him about one hundred and forty hours a week. It is clear that if he is really to arrive at high-grade behavior, then he must certainly practice at home. But the school provides the expert workers and must take the lead in the management of this education. It must provide the patterns of activities of all proper sorts; give information needed for self-guidance; awaken interests, evaluations, desires, and ambitions; stimulate, guide, supervise the pupil's practice in the activities while at the school; and advise and cooperate with homes in the latter's discharge of their responsibility."

Here is a singularly clear statement of the new education.

Manchuria Warlord Plans Strategy To Get Mukden Revenue

MUKDEN, Dec. 17—Gen. Chang Hseuh-liang, warlord of Manchuria, decided today to draw up a general conscription law to amass a soldiery of 2,500,000 men ostensibly for defense against the Soviet advance. Observers, however, see in this move a clever device to secure revenue from wealthy merchants to tide over the present financial crisis of the Mukden government. Sons of wealthy merchants by this law, will be forced to join the ranks unless they paid fines to the government.

ARMS ENVOY GETS PRAISE FROM PRESS

Wakatsuki Has Ways of MacDonald Says Washington Star

By R. KIYOZAWA
Special Correspondent

WASHINGTON, Dec. 17—Having finished with formal calls in the official Washington circles, the Japanese delegation to the conference this afternoon began in earnest its conversations with Secretary Stimson concerning reduction of naval armaments.

Opinion prevailed that Wakatsuki and Takarabe will not discuss small details with Stimson at this time.

Wakatsuki has impressed the newspapermen favorably. The Washington says Wakatsuki's frankness and manner and even to some extent his appearance strongly suggest Premier Ramsay MacDonald.

OFFICIAL VISITS

WASHINGTON, Dec. 17—The Japanese naval conference delegates, headed by ex-Premier Reijiro Wakatsuki, experienced today a heavy program of social functions in the official Washington circles.

After 9 a. m. Ambassador Katsuji Debuchi visited the delegation at Mayflower Hotel, and half an hour later the two chief Japanese delegates, Reijiro Wakatsuki and Admiral Takarabe, paid calls upon Vice-president Charles Curtis and Chief Justice Howard Taft of the Supreme Court. They also visited Speaker Longsworth of the House of Representatives.

At 1 p. m. the Japanese delegation was honored at a luncheon given by former United States ambassador to Japan, Charles McVeagh.

From 3 to 6 p. m. the Japanese delegates conferred with Secretary Stimson on the question of naval reduction.

VISITS PERRY MEMORIAL

At 6 p. m. the entire party visited the Perry memorial at the Perry Belmont residence, and at eight o'clock an official banquet was tendered the party by Ambassador Debuchi at Mayflower Hotel.

Mr. Wakatsuki and Admiral Takarabe, together with their chief advisers, paid an official call upon both President Hoover and Secretary Stimson yesterday afternoon. Both Wakatsuki and Takarabe spoke highly of President Hoover. In the evening Wakatsuki gave a press interview before some fifty American newspapermen at the official residence of Ambasador Debuchi.

PRESS INTERVIEW

Wakatsuki personally read a prepared statement before the pressmen, and the interpretation was done by Mr. Saito, former consul general at New York. Wakatsuki answered all questions on the condition that he not be quoted. He declared that Japan needs 70 percent of the strength of the strongest navies.

When asked if Japan is ready to negotiate among the remaining three big powers in the event that both France and Italy withdraw after a deadlock, Wakatsuki declared that he was confident a five-power pact would be concluded. With this tactful evasion, he refused to voice his opinion on the supposition.

Mrs. Takarabe in a dainty Japanese kimono, accompanied by Mrs. Debuchi, made several social calls.

60 Japanese Attend Father and Daughter Fete at Main YWCA

About sixty Japanese people, including members of the two Echo clubs of the local Japanese Y. W. C. A. and their fathers, took part in the annual Daughter-Father banquet held Saturday night at the Main Y. W. C. A. on Sutter street. About 250 people in all, representing various nationalities, attended

An entertaining program was given by the Girl Reserves during the banquet. Miss Maki Ichiyasu, president of the Silver Echoes, gave a toast to the fathers in behalf of the daughters.

There was a delightful skit, "Through a Christmas Window," presented by a group of American girls. A candle lighting ceremonial also proved effective.

Miss Mary Murai was chairman of the decorations committee.

Six New Cinema Houses Will Dot Tokyo Ginza-dori

TOKYO, Dec. 14—Half a dozen elaborate picture palaces, each seating more than 4,000 spectators, will soon grace the Ginza and Shinjuku districts of Tokyo.

Spurred by the tremendous strides being made in construction of picture houses in America, Japanese theater men are reported to be determined to make 1930 a banner year in the city, keeping the construction of cinema halls parallel to the growth of the city since the earthquake and fire.

歲末御贈答用に
御多福印麵類
登録商標
特製チャウメン用うどん
マカロニ類
干蕎麥
卵入饂飩
干饂飩
米國到る處の日本人食料品店に有之候間最寄商店にて御求め被下度候
會株式社 信濃商會
電話 五三六一 ドイサキイレ
加州ロスアンゼルス市第二十六街一番 五五二一

A DELIGHTFUL CHRISTMAS GIFT

For Boys or Girls, Young or Old
Organize a harmonica band in your family or in your neighbor-hood and learn the musical possibilities of this new type of Harmonica—Made in Japan
Powerful in tone — Lasting in quality
Price: All keys—$2.50
THE KINO DRUG COMPANY
247 E. 1st Street, Los Angeles, Calif.
Sole Agents for the United States